

科目名	保育内容演習（環境）		担当教員	由田 新・石井 章仁		
			担当形態	オムニバス		
テキスト	幼稚園教育要領解説（フレーベル館） 保育用語辞典（ミネルヴァ書房）	単位数 授業形態	1単位 演習	開講時期	通年	
講義概要 ■到達目標■ この授業は、実際に子どもとかかわったり、保育者の子どもとのかかわり等に触れる体験を通して、保育内容を領域「環境」に焦点をあてつつ、総合的に学んでいきます。 ・日々の生活やあそびの中で様々な体験をし、総合的に子どもが育つということを理解し説明できる。 ・子どもが保育の中で体験している内容を知り、領域「環境」の視点から説明できる。 ・生活やあそびを支える子ども理解や子どもとのかかわり、保育者の援助を知り記録できる。						
■授業のテーマ及び概要■ 実際に子どもとかかわりながら、具体的に保育の内容を学んでいくためには、「面白いな」「どうしてだろう」と自分なりに課題をもって取り組むことが学びの第一歩になります。 具体的には、皆さんの体験レポートを基に、子どもがさまざまな環境にかかわり、その多様性を知ったり工夫したりする姿に触れながら、子どもを理解し、保育者の援助を具体的に学んでいきます。現代における自然の重要性と保障、留意点についても考えていきます。 この授業では保育内容「環境」に焦点をあてて学びますが、子どもの活動やかかわりの中で独立したものではないことはすぐに理解できることでしょうか。ここでは、その他の領域との関連についても触れながら進めていきます。また、他教科とも連携し、自分の身の周りの事物をも意識しながら学んでいきます。						
■授業計画 第1回 保育内容の構成を確認する 第2回 自分の身近な環境や自然に目を向ける 第3回～第4回 幼稚園環境と子どものかかわり・子どもにとって身近な環境と、環境とのかかわりの実際を知る 第5回～第6回 子どもの幼稚園での生活やあそびから、身近な環境への関心や意欲を探る 第7回～第8回 幼稚園での生活から保育内容「環境」のねらいや内容を考える 第9回～第10回 自然物と子どもとのかかわりや、さまざまな環境とあそび、及びその留意点について知る 第11回～第12回 身近な環境への関心、環境を生活へ取り入れる工夫や、援助の実際を知る 第13回 保育内容「言葉」「表現」「健康」「人間関係」との関連性を知る 第14回～第15回 保育内容を踏まえた上で指導計画を作成し、実施後振り返りを行う						
■準備学習■ ・皆さんの体験を基に授業を展開しますので、体験のレポートを書きます。 ・授業後には授業の内容を再度皆さんの体験と結び付け、理論的な理解を深めることが必要です。 ・グループや個人で、その都度必要な準備学習を行います。						
■評価方法■ ・授業への取り組み（討議への積極的な取り組み、発言内容）— 40% ・期末試験 — 60%						
参考文献	特になし		特記事項	特になし		
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修		幼	教職に関する科目		
			保	保育の内容・方法に関する科目		